



海のたより



第30回エリカカップ
優勝、ホーネット
18年ぶり2回目の優勝

目次	行事予定
表紙 エリカカップ	6月11-12日 東海ミドルボート選手権
P 2 エリカカップ優勝、ホーネット	6月12日 MCC春のチャンピオンシップ
P 3,4 ブーメラン、ランナー、アルミスのコメント	6月26日 スモール6月ポイントレース
P 5,6 エリカカップ写真特集、成績表	7月17日 MCC三河湾周遊レース(ナイト)
P 7 5月早朝、MCCカップ優勝、スーパーウェーブ	7月29-31日 パールレース
P 8 各艇のコメント	7月31日 蒲郡花火大会
P 9 アクアマリンの伊豆クルージング	

エリカカップ優勝 18年ぶり 2回目の優勝

ホーネット 正木

レース前、目標はクラス優勝、五ヶ所湾レースで前を走られたケーニッヒや同型艇に負けまいと確認し合った。西の風、10~15ノット、セールの選択に迷うところだが、何とか走れそうと判断してNo.1をセットする。とにかく、スタートはしっかりと集中してやろう。エリカは艇数が多いだけに、スタートが上手くできないとその後の展開が苦しくなる。

2回のゼネリコでいい練習ができた。2線目に入ってしまうないように、フレッシュウインド&フリーウォーターだ。ラインを気にしながらジャストスタートを目指す。リコール艇有りのフォーンが鳴る、「大丈夫。リコールはラインに戻れなかった艇だ。」という多田さんの声に迷わず艇を走らせる。下側には大きなフリーウォーターができて絶好のポジション。影響を受けるような艇は全くいない。

少しヘッダーが入るが振れ戻り、そのまま延ばすと、我が艇から下側（沖）はいい風を受けているが、上側は風が弱く遅れている。上マークアプローチのためタック、途中、ジョーカーとミートするが無理せずベアーしてかわす。上マークは6番で回航、この調子ならクラス優勝を狙える。

しかし、ベテラン7名+ゲスト1名の布陣はドタバタ、スピニアップにもみんな声は出るが、体の動きが今一つでコンビネーションも悪い。後ろから、シーファルコンやブーメランが迫ってくるが、追いつかれるまではない。サイドマークでジャイブ、ランニングからリーチングにヘッドアップしてマーク回航。

スピンでは少しきつい、先行艇にはすでにスピンドウンしてジブで走っている艇も。できるだけスピンドウンで距離を稼ごうと、8人の乗員でオーバーパワー気味なところを抑えて走る。やっぱりスピンでは上り切れないため途中でジブに切り変えるが、スピンドウンでスピンを飛ばしてしまう。しかし、大事には至らない。

風が上がってきているが、セールチェンジせずにNo.1ジブで行く。8人の乗員、オーバーパワーだが意外と走りはよく、ウェザーヘルムも思った程ではない。上マークへのアプローチ（ポートからスターボ）のタックは距離もありやや早目、上り切れない予定が何とかギリギリで上りきる。マーク直前でラフィング、タックせずに何とか回航できた。

すぐにジャイブ、ポートにセット済みのスピンをアップ、後はこのままフィニッシュを目指すのみ。まあまあいいレースができたと思っていたところでトラブルが発生する。最後のジャイブでスピンをステイに巻いてしまい、なんともみっともない形のままフィニッシュ。数秒のロスだとは思いますが、後味の悪い結末となった。

ナルミ、パラフレに次いで着順は8位。フィニッシュした時も総合優勝など夢にも思っていなかった。私は腰の調子が悪かったので片付け、食事を終えると早々に表彰式も出ずに帰ってしまった。家に帰る直前、メールを見て驚いた。そして、とても嬉しい思いがこみ上げてきた。



第2上マーク直前のラフィング、
かろうじての回航、連続写真



ただで十分。ちなみに前回優勝の時は、表彰式は大雨で中止のため今回が初の表彰式だった。

過去（1998年）に一度優勝したとはいえ、エリカのようなビッグフリートのレースで勝つのは難しく、今回もまさか優勝できるとは思いもしなかった。3年前、同型艇のセレスティーンの優勝を見て羨ましく思ったものの、難しさを感じていたからこそ、次は自分達だとは中々思えなかった。そんな思いの中での優勝であり、前回の優勝とは違って格別である。今回は、スピニアップやジャイブでスムーズにできないミスもあったが、絶好のスタートに加え、上マークまでのコースがよく風にも恵まれたのが勝因だと思う。2位アケア、3位ブーメランを抑えての優勝というのも嬉しい。自分は表彰式に出られなかったものの、HPで表彰式に出席した人の喜ぶ顔を見られた



(中村) 好位置ジャストスタートと南へ伸ばしたコース選択が第1上での高順位。サイドでジャイブ後のリーチング、8人の乗員で艇を起し頑張った結果がジェネカー艇にも負けずに下マーク回航。2上へは風も上がり大型艇有利な中、8人の体重がここでも効果、早めのマークアプローチのタックでも何とか上りきりマーク直前のラフィングでタックを増やさずに回航できた。レースに勝つには戦略、技量も大事だがミスを減らし運を味方にしないと中々勝てない。今回は三拍子、四拍子揃った結果です。2回目とはいえ初の表彰式、もっと派手なパフォーマンス、記念写真を撮ればよかったと思っています。

(高橋) 最後のスピントラブルで上位入賞は無理と思いましたが、運良くクラス優勝どころかエリカカップまで頂きました。有難うございました。優勝賞品の蒲郡みかんは最高に美味しく、孫が毎日離乳食で頂いています。エリカカップ同様最高です。

(三戸) 嬉しいです。当日夜、航跡をライバル艇と比較検討し自宅で反省会をしました。よかったことは再現し悪いことは繰り返さないよう引き続き精進します。

(多田) 下記でちゃんと見れました。
<http://www1.yachtrace.jp/sp505.html?folder=160522TOSC>
 これからは、電源ケーブルが必需品になるか??? 自分のスマホでは、電池切れになったかな “(-”-”)”
 アケアとの差も120秒って楽勝だったんだ!!!

(石原) いいスタート、いいコースどり、いいメンバー
 クラス優勝、総合優勝とは最高の一日でした。

(ゲスト荒木) 皆様のお陰で、レース初体験の私がこのような賞をいただくことが出来ました。今回の経験は私に多くのものを与えてくれました。より多くの人にヨットの良さを伝えて行きたいと思います。



第30回 エリカカップヨットレース「Boomerang」(J/92)参戦記

Cクラス準優勝、総合三位 Boomerang 代表 沢田一彦



「Boomerang」(J/92)のTRSレーティングはIRCと異なりジェネカーを使用する為に同型艇の「うらなみ」より59秒/1時間のペナルティーが課せられてしまい毎年修正ではなかなか勝てない状況になっていました。

そこでBoomerangチームは今年もエリカカップヨットレースに2艇(シースケープ-27とJ/92)で参加しましたが「J/92」は総合優勝よりJSAF外洋東海のIRC年間総合優勝を狙うべくIRC参加の12艇をチャックしながら当日の軽風予報に備えて最少人数=5名で臨みました。

スタートはアウターマーク有利と判断し下マーク寄りに位置を取りながらしかし風上艇の「ナルミ」に邪魔をされ少し出遅れてスタートしました。

スタート後は順調な滑りでしたが最初の上マークで「HORNET」に大幅にリードをされてその差は各レグ共に縮むことが無くフィニッシュで3分04秒の差を付けられ今回のレースは完敗しましたが総合3位・クラス2位・IRC2位の成績が残せました。

スタートから第1上マーク・・・そして最後のフィニッシュまで61艇のレース艇を抑えて素晴らしい走りを持たされた・・・「HORNET」・・・本当におめでとうございます!!



第30回エリカカップEクラス優勝（総合16位）

ランナー 北河

今年も守護神（2歳・6歳）を乗せ安全第一でレース海面に出航、観覧船の近くでスタート時刻を待つことにした。我が艇は本部船狙いでジャストスタートと思ったらゼネラルリコール。

二回目のスタートも本部船狙いでジャストスタート。豊橋沖に伸ばしているが、タックしてくる艇団があるも我が艇は少し前に出ているように思えた。タックを返しながらかんコースをとって上マークに向かった。風が南に振れ

ているように見え豊橋沖に伸ばしていった艇団が前を通り過ぎていくが大型艇でもありかんコースをとっていたことで大きなロスはなかった。

上マークアプローチは安全第一と早めの準備でマーク回航、スピニングアップとロスのない回航で後続艇を確認すると、同クラスの「ベベ」がすぐ近くにいる。スピード第一で2マークへ向かうと徐々に「ベベ」を引き離すことができた。

3マーク（下マーク）も安全第一で早めのスピニングダウン、タックで沖出し（豊橋）、我が艇はスピードも申し分なく、先行艇は大型艇ばかりで最高である。

最後の上マーク回航は大型艇のベンガルなどが次々と回航していく。ホーネットも上位で回航していった。我が艇の守護神二人は上位にいるのが解るのか至極ご機嫌である。ランナーは中位ほどで回航、先行艇は大型艇であり期待が持てそうである。スピニングランもスピード十分で気分爽快である。

フィニッシュは全体の中ごろであり同クラスはいない。クラス優勝の期待をしながら形原へ回航し表彰式会場へ着くとEクラス優勝（総合16位）と連絡が入る。また飛賞の蒲郡ミカンもいただき最高のレースでした。

ありがとうございました。来年も頑張ります。

Cクラス3位 総合5位アルミス5

アルミス金田

結果 クラス3位 総合5位なんてしばらくこんな好成绩とってなかったような気がします。

簡単にレース内容を振り返って（記憶違いもあるかも(笑)）

天気予報での風速3~5mでは、今日は勝ち目はないと思ったがいざ、レース海面に到着すると、アルミスにとっては、諦めなくてもいい風速レンジ。本日のスタート攻略をどうしようか？

全艇同時スタートとの事なので、混戦が予想 また、上マークは南にずれている。風が南に振れるのを計算してそこまでずらした？ということで、リミット寄りスタートし、スタボーを出来るだけ伸ばそうと決定。

1度目のスタートは、MAXスピードまでもって行けず、ゼネリコで助かりました。

2度目のスタート 20秒前でスピードMAX おかげで大型艇をクリアしエンド寄り下に他艇もいない、いい位置をキープ。すぐ上には、同型艇アケア。ここでスタート。しばらく、アケアよりスピードは勝っていた。

ひたすら左海面に（右海面より風はあったような感じ）上マークに近づくにつれ、左海面に行った艇がだいぶ先行してもしかして今日は、いい成績が残せそうかもと、にわか喜ぶ。でも、次レグ スピードの出ないスピニングランがあるから 喜んでもいられない。

しかし、こういう時に限ってトラブルが。スピニングが上がりきったと思ったら、マスト横のハリヤードロックが外れ、一気に海の中に これでかなりタイムロス。でも、いつもならホーネットに離されるスピニングランが、今回はそんなに離されなかったような。

2回目の上りレグ また、風の良かった（と思う）左海面に。上り角度は、先行するホーネットに比べるとかなり悪い。後ろにいたアケアは、右海面にタック。しかし結果右海面の方が良かったようで、アケアが先行 ケーニッピには抜かれず済む。最終レグも右海面に しかし前には、同クラスのアケア、ブーメランを確認。これでは入賞はないかと諦めていましたが、結果は3位を貰えてラッキーでした。



左からアルミス、ブーメラン、アケア

第30回 エリカカップ 写真特集

べべとうらなみは30回連続参加達成



B-1 総-1 ホーネット



B-4 総-13 ダンシングビーズ III



B-5 総-14 オデッセイ



B-OCS アネックス



C-2 総-3 ブーメラン



C-3 総-5 アルミス5



C-4 総-6 スーパーウェーブ VI



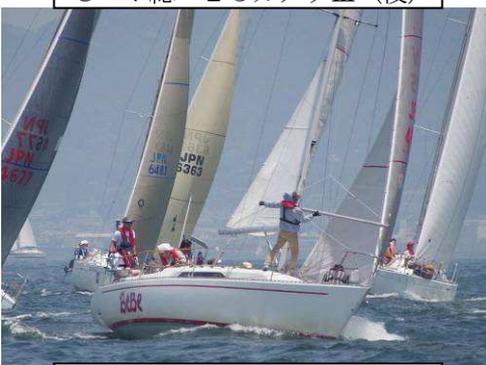
C-7 総-23 ガメラ III (後)



C-8 総-29 うらなみ IX



E-1 総16 ランナー II



E-3 総-24 ベベ III



総合優勝ホーネットチーム



総合3位ブーメランチーム



クラスC3位アルミスチーム



クラスE優勝ランナーチーム

MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号・MCC海のたより6月号



第30回 エリカカップヨットレース

2016/5/22

スタート時刻 10:30:00
タイムリミット 13:30:00

Class	Sail No.	艇名	艇種	TRS	FINISH	着順	所要時間	秒	修正秒	ペナルティ	順位
1	B	JPN 5791	HORNET	SEAM 31	99.9	12:12:26	1:42:26	6146	6152		1
2	C	JPN 5619	AKEA	J/V 9.6CR	100.5	12:15:04	1:45:04	6304	6273		2
3	C	JPN 5131	BOOMERANG	J/92	100.5	12:15:32	1:45:32	6332	6300		3
4	A	JPN 6730	Sparky Racing	C&C 30	90.7	12:05:29	1:35:29	5729	6316		4
5	C	JPN 4774	ARMIS 5	J/V 9.6CR	100.8	12:16:40	1:46:40	6400	6349		5
6	C	JPN 5550	SUPER WAVE VI	SLOT 31	101.4	12:18:57	1:48:57	6537	6447		6
7	B	JPN 5650	KoNIG	J/V 9.6CR	99.3	12:16:45	1:46:45	6405	6450		7
8	A	JPN 4004	PARAPHRENIAN	First 40.7	93.0	12:11:17	1:41:17	6077	6534		8
9	A	JPN 5563	ELDORADO VI	YAMAHA 40Rk	95.1	12:13:46	1:43:46	6226	6547		9
10	A	JPN 4321	KLC Bengal7	Humphreys 54	70.2	11:47:09	1:17:09	4629	6594		10
11	A	JPN 5785	Mossy-Tie	N/M 1D35	88.9	12:07:43	1:37:43	5863	6595		11
12	B	JPN 6379	Vind S	SEAM 33mod	97.4	12:17:52	1:47:52	6472	6645		12
13	B	JPN 5933	Dancing Beans III	SEAM 31	99.8	12:21:43	1:51:43	6703	6716		13
14	B	JPN 3173	ODYSSEY	SEAM 31	100.4	12:22:39	1:52:39	6759	6732		14
15	C	JPN 5157	CHESTNUT 6	YAMAHA 30S new	103.3	12:28:16	1:58:16	7096	6869		15
16	E	JPN 3687	RUNNER II	YAMAHA 30S II	106.0	12:32:02	2:02:02	7322	6908		16
17	F	JPN 6484	BROWN SUGAR II	YOKOYAMA 29	107.4	12:33:44	2:03:44	7424	6912		17
18	A	JPN 4135	DANRYU 2	YAMAHA 33S	95.9	12:20:41	1:50:41	6641	6925		18
19	B	JPN 6607	Lanovia 2	Bavaria Match 35	99.4	12:24:55	1:54:55	6895	6937		19
20	C	JPN 3602	Martinique PLUS	SWING 31	104.2	12:30:46	2:00:46	7246	6954		20
21	E	JPN 5333	Oceanid	J/29	104.3	12:31:07	2:01:07	7267	6967		21
22	B	JPN 4983	HINEMOSU	J 35	97.0	12:22:48	1:52:48	6768	6977		22
23	C	JPN 4639	Gamela 3	SWING 31	104.2	12:31:13	2:01:13	7273	6980		23
24	E	JPN 4825	BeBe III	PIONER 9	105.8	12:33:35	2:03:35	7415	7009		24
25	E	JPN 6670	YUKI	A 27	104.2	12:31:49	2:01:49	7309	7014		25
26	E	JPN 6764	弥栄	AIOLOS 26	105.9	12:34:43	2:04:43	7483	7066		26
27	D	JPN 5111	BARONESS	First 45F5	92.2	12:19:16	1:49:16	6556	7111		27
28	B	JPN 5412	AHOUDORI 3	SunFast 36	99.9	12:28:57	1:58:57	7137	7144		28
29	C	JPN 5404	うらなみ 9	J/92	102.2	12:32:03	2:02:03	7323	7165		29
30	C	JPN 6698	Boomerang MJ	SeaScape 27	101.0	12:30:55	2:00:55	7255	7183		30
31	E	JPN 6494	Mola mola III	PIONER 9MH	106.7	12:38:03	2:08:03	7683	7201		31
32	E	JPN 4677	Futurewave	SWING 31B	104.3	12:35:42	2:05:42	7542	7231		32
33	F	JPN 5920	HIGHTENSION	YAMAHA 23III	113.7	12:47:34	2:17:34	8254	7259		33
34	F	JPN 3605	Active	YAMAHA 30C II	109.9	12:43:48	2:13:48	8028	7305		34
35	D	JPN 6747	Wind Message II	First 33.7	104.3	12:37:53	2:07:53	7673	7357		35
36	F	JPN 6750	HENRI FARMAN	YAMAHA 26 II s	108.3	12:42:55	2:12:55	7975	7364		36
37	C	JPN 6066	NOAH X	BAVARIA 37 Cruse	103.6	12:37:21	2:07:21	7641	7375		37
38	E	JPN 1190	HELIOS	PIONER 10	106.7	12:41:29	2:11:29	7889	7394		38
39	F	JPN 6490	CLIP II	YAMAHA 23III	113.7	12:50:12	2:20:12	8412	7398		39
40	F	JPN 6653	SHIKAMARU	YAMAHA 26CEX-TT	111.0	12:47:09	2:17:09	8229	7414		40
41	D	JPN 6311	MER BLEUE V	FINNGULF 33	101.6	12:35:35	2:05:35	7535	7416		41
42	D	JPN 6767	Dolphin 7	JEANNEAU 53	90.2	12:22:09	1:52:09	6729	7460		42
43	B	JPN 6363	CooCoo SiX	Dehler 36 S&Q	97.9	12:32:11	2:02:11	7331	7488		43
44	D	JPN 5718	GRACE	ERAN 36	100.4	12:36:25	2:06:25	7585	7555		44
45	F	JPN 5881	MARLINTINI TAVARN	YAMAHA 26S II	108.5	12:46:57	2:16:57	8217	7573		45
46	D	JPN 6483	Wa i Wa i II	First 310	105.1	12:42:51	2:12:51	7971	7584		46
47	B	JPN 5011	Wind Word	Tsuboi IMS 1030 LG	97.6	12:34:01	2:04:01	7441	7624		47
48	D	JPN 6501	Eleve	First 31.7	105.4	12:44:13	2:14:13	8053	7640		48
49	D	JPN 6416	Saemy 5	Hanse 43e	94.1	12:32:52	2:02:52	7372	7834		49
50	F	JPN 6477	小町 V世	Esprit du Vent	106.8	12:49:45	2:19:45	8385	7851		50
51	D	JPN 6577	Valencia	Salona 34	101.3	12:43:11	2:13:11	7991	7888		51
52	D	JPN 5253	DoDo 3	YAMAHA 40EX	95.9	12:38:08	2:08:08	7688	8017		52
53	A	JPN 6687	JOKER	X 41	89.2	12:04:02	1:34:02	5642	6325	OCS	
54	A	JPN 6352	SEAFALCON	X 35	95.2	12:10:26	1:40:26	6026	6330	OCS	
55	A	JPN 5055	NARUMI	YAMAHA 33S	95.8	12:11:09	1:41:09	6069	6335	OCS	
56	C	JPN 3833	BLUE SHARK	YAMAHA 31S	103.3	12:24:37	1:54:37	6877	6657	OCS	
57	A	JPN 6224	June Bride IV	TAKAI 34	96.7	12:19:02	1:49:02	6542	6765	OCS	
58	D	JPN 6588	Thunder Bird II	First 45	91.6	12:13:50	1:43:50	6230	6801	OCS	
59	B	JPN 6155	ANNEX V	First 36.7	97.6	12:22:15	1:52:15	6735	6901	OCS	
60	B	JPN 5841	Roku III	SEAM 31	99.9					DNF	
61		JPN 2634	Flanker	LIDGARD 38R/C		12:14:35					

No. of entry:21

2016/4/26

MCCカップ何とか優勝しました

スーパーウェーブ・長坂



スタート前、風なし



スタート後、風なし



ホーネットに追いついた

今年3月になって、我がSWのクルー数人が家庭の事情やら、他の行事の都合やらで急ぎょ今年のレース活動に参加ができなくなり、人材豊富のはずのSWがピンチになりました。

そんなクルー不足の中、梶島レースも何とか6名を集め参加しました。じつは今年のSWの船底はある物を塗って帆走しています。(ある物とはまだちょっと企業秘密で言えません、今年のレースシーズン後には) そのある物のおかげかどうかわかりませんが、梶島レースのスタート直後の微風の中、良い走りをして、シームやユーデルのヨットと遜色のない走りをしてくれました。

最初のマークである豊橋潮流ブイをアルミスとそんなに差のないくらいで回航して梶島ブイに向かいましたが、微風のフリーの風はさすがにホーネット、アルミスの走りは良く、梶島ブイは何とか3番目に回航し帰りのレグとなりました。とにかく、アルミスやホーネット、オディッセイに差を広げられないようにと、気を抜かず走らせました。

帰りの豊橋潮流ブイの回航はアルミス、ホーネットの次の3番手で回航し、時間差もレーティングで何とか順位は上がるのを信じて、微風の中とにかく丁寧に丁寧にミスが無いように艇を走らせました。

最初に書いたように、ある物を塗ったのが功を奏したのかどうかですが、修正で何とか優勝しました。

今年のMCCの年間優勝をホーネットの4連覇を阻止するためのまずは今年最初のレースで優勝ができ、この勢いで来月のレースに望みたいと思っています。コミッティのDBさん、お疲れさまとありがとうございました。

コメント
4月レースが中止になり、MCC今年初レース。
艇長会議時は風なく、コース短縮を考えたいが予報ではまあまあの風がありそうでそのままスタートする。
何とかスタートできる程度の風も豊橋マークに近づくころには10k程度に・・・
アルミス、スーパーウェーブ、オディッセイ、ホーネット、ベベの順で豊橋マークを回航。
その後も順調な風の中をスピンランで梶島マークへ、ホーネットが追い上げていく。
復路は片上りの一直線、アルミス、ホーネット、スーパーウェーブ、オディッセイと続く
風も順調で当初の懸念はなく10時半過ぎにレースを終了した。

				MCCカップ(早朝)				
				名称	MCCカップ(早朝)			
				コース	S→小島→豊橋→梶島→豊橋→小島→F			
				距離	28.5 マイル			
				風速	5m 以下			
				スタート	7:00:00			
						(B)	(A*B)	順位
セール No	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	得点
5550	Super Wave 6	Slot 31	0.984	10:32:37	3	3:32:37	3:29:13	1
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.010	10:28:20	1	3:28:20	3:30:25	2
4825	BeBe	Pioneer 9FR/PB	0.911	10:52:04	5	3:52:04	3:31:25	3
5791	Homet	Seam 31	1.011	10:30:45	2	3:30:45	3:33:04	4
3173	Odyssey	Seam 31 II	1.013	10:33:17	4	3:33:17	3:36:03	5

MCC5月早朝、MCCカップレースの各艇コメント



◆1位Super Wave 長坂さん

今日はみとマリーナのファミリーレースとバッティングしていましたが、今年のスーパーウェーブは打倒「ホーネット」のキャッチフレーズを掲げていまして、MCCのレースに参加して大変良かったです。尚、フィニッシュが10時半に終わり11時スタートのみとマリーナレースにもオープン参加してきました。今日はありがとうございました。

◆2位アルミス

ここ数回3、4人の場合が多く、久しぶりの5人で参加。途中のスピランでホーネットに追いつかれそうになりましたが、大きなミスをしなかったことが幸いし、久しぶりのファーストホームを飾れました。修正でも1位を期待したのですが残念でした。本シーズンもよろしくお祈りします。



◆3位BeBe

今年初めてのレース6人でのぞみました。微風でのスタートは相変わらず出足は鈍い、少しブローが入ってくると他艇と登り角度もついていけるが全体的に単純なコースでは勝ち目はない。

◆4位ホーネット 三戸さん

ホーネット三戸です。今日ヘルムスの正木が腰痛の為欠席。代理でヘルム担当しました。ヘッドセイルはNo.2で風の弱い時は苦しく後れを取ることが多く、フリーで頑張って追いつく展開でした。残念な成績でしたが、これから挽回していきたいと思います。



◆5位オテッセイ伊勢谷さん

今日の天気は快晴で風弱し。今年初めてのレースで順調にレースが出来るか心配です。クルーも今年初めて船に乗る者もいて大丈夫かと思いつつ準備を進める。スタートはポートの風で微風、このままではフィニッシュ出来るかと思いつつ徐々に風速が上がり艇もスピードを上げ快調に滑りだした。上のブイまでは大きな差もなく回航、ホーネットにかなり差を付けていたがランニングで追い上げられ先に行かれる。帰路のコースはクローズドリーチでスピードが有り先行艇に追いついたが最終ブイを回りランニングコースで挽回出来なかった。



今回、船は良く滑っていたがスピランを新調したいと思います。レースは、大変気持ちよく出来て爽快でした。今週のエリカに参加します。また宜しくお願いします。



アクアマリンの伊豆クルージング

中村

5月23日、エリカの翌日から30日までの8日間で神津島、三宅島、式根島、下田、松崎、福田に寄りながら楽しんできました。詳細はHPの航海日記を参照ください。

初日23日は10時過ぎに出港しオーバーナイト、

翌日24日8時過ぎに神津島漁港に到着。赤崎遊歩道、神津島温泉を楽しみました。

25日は午前中に三宅島阿古漁港に移動。午後は火山体験遊歩道、メガネ岩の観光ができました。

26日はやはり午前中に式根島へ移動。露天風呂を楽しみました。

27日は天候をおして下田に移動、天候の変化が予測より速く20m超の強風に会ってしまいました。

28日は一転、穏やかな日で石廊崎港、妻良漁港を見学しながら西伊豆の松崎港へ移動。

29日オーバーナイトで一挙に帰れるが夜は雨の予測。途中の福田で待機する。

30日も午前中は雨、12時間で帰れるし風も強くない予報。午後出発し深夜に母港着。

31日は快晴、午前中、世話になったヨットの清掃をして解散しました。



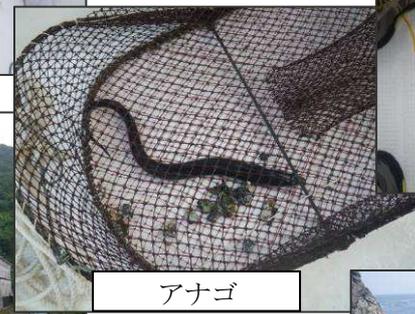
シーラ



ソーダカツオ



ナマコ壁



アナゴ



ウツボ



松ケ下雅湯



溶岩海岸



赤崎遊歩道